

皆さんが働く神戸市役所は「健康経営」に取り組んでいきます

POINT 1

健康経営とは

神戸市役所改革方針に「健康経営の推進」が盛り込まれていることはご存知でしょうか？

「健康経営」とは、民間企業を中心に広がっている考え方で、従業員の健康づくりの取り組みが、将来的に収益性を高める投資であるという考えの下、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践することを指しています。

市内企業でも、アシックスが健康経営優良銘柄に選定されているのをはじめ、複数の企業が健康経営優良法人の認定を受けるなど、先進的な取り組みが進んでいます。

組織風土の改革を進めようとしている神戸市役所としても、民間企業の先進事例に学びながら、「健康経営の推進」により組織の活性化、市民サービスの向上に繋げていきます。

POINT 2

『Win-Win-Win』の関係

健康経営は事業主である神戸市役所だけで進めていくわけではありません。医療保険者であり、職員の福利厚生の一翼を担う神戸市職員共済組合と一体（コラボヘルス）となって職員の健康づくりを進めていきます。職員が健康であることは「職員本人」「神戸市役所」「共済組合」三者がWin-Win-Winの関係にあります。

職員本人	健康になる＝気持ちよく意欲的に働ける！ 健康寿命が延びる！
神戸市役所	生産性の向上＝市民サービスの向上！ 組織の活性化！
共済組合	医療費の削減＝健康保険料の抑制 ⇒職員の掛金や市役所の負担金の抑制

POINT 3

積極的な参加と参画を

健康経営の推進に向けて、行財政局（厚生課等）や厚生団体（共済組合等）では、健康づくりに関する新規メニュー提供など、取り組みを拡充しますので、積極的に活用いただきますよう、お願いします。

職員個人や家族でも積極的にセルフケアに取り組んでいただくとともに、各局室区や各職場においても自主的な取り組みを進めていただきますよう、よろしくお願いします。

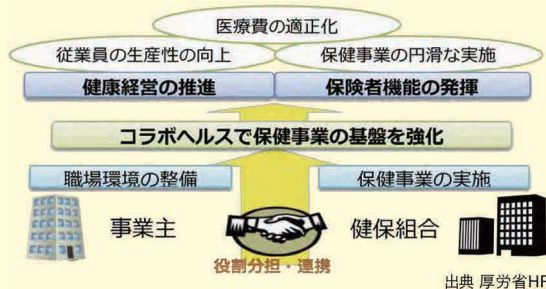
健康経営優良法人



経済産業省が実施する顕彰制度。健康経営に取り組む優良な法人に対し、社会的に評価を受けることができる環境を整備する制度です。2017年よりスタートし、2019年は821法人（大規模法人部門）が認定されました。

同制度では定期健康診断の100%受診や、社内歩数競争によるコミュニケーション増加、インフルエンザ予防接種の費用負担、自販機の飲料を低糖・低カロリーに変更など、多彩な取り組みが評価される事例として紹介されています。

「健康経営」は、厚生労働省の下で実施されている「データヘルス計画」と“車の両輪”として進められています。

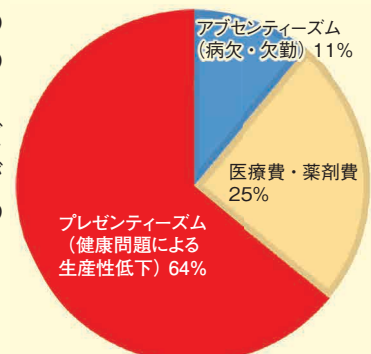


出典 厚生省HP

アブセンティーズム（病欠、欠勤）とプレゼンティーズム

アブセンティーズムは聞きなれない言葉ですが、欠勤や早退などで職場に出勤せず、業務につけないことを指します。生産性の低下や業績の悪化などの原因としては分かりやすく、労務管理としてはこのアブセンティーズムの対応策を主に考えていました。

しかし近年では、プレゼンティーズムという概念が出てきました。出勤はしているものの、健康上の問題で労働に支障をきたし、最善の業務ができなくなる状態で、例えば睡眠不足、腰痛肩こり、軽い風邪、偏頭痛、軽いメンタル不調などです。2018年の産業医科大学の研究で、従業員の健康コストのうち、プレゼンティーズムによるコストが大きいことがわかってきました。



従業員の健康コストの内訳

出典 Nagata T, et al, J Occup Environ Med. 2018を基にグラフ作成

新規・拡充するメニューは？

NEW

健康アプリ

「MY CONDITION KOBE」を使って健康管理!

食事・運動・睡眠等データを入力すれば、AI保健師からアドバイスがもらえます。また今後、健康診断・人間ドックの過去3年間のデータが閲覧できるようになる予定です。

※現在は神戸市民ですが、今後神戸市在勤職員にも拡充する予定です。



NEW

インフルエンザ予防接種助成 自己負担を原則1,000円に!

助成額を最大3,000円に増額し、感染予防対策を強化します! 詳しくは13ページをご覧ください。



NEW

禁煙外来支援メニューを追加 (えらべる倶楽部)

フリーチョイスプランに追加しますので、ヘビースモーカーの方はぜひご利用ください。

(あじさい通信10月号でお知らせ)



NEW

特定保健指導はオンラインでも!

スマホを使って、特定保健指導が受けられます! 保健指導室(三宮)が遠くて保健指導を受けられなかったあなた!ぜひこの機会に試してみてください♪ ※本サービスは特定保健指導の対象となった方のみです。



NEW

休み時間・仕事終わりに使って 庁内運動セミナー

健康創造都市KOBEの実証実験「スポーツエコシステム」(NTTデータ提供)を利用して運動してみませんか。

※秋頃開始予定。日程が決定次第お知らせします。2次元コードは過去に開催されたものです。



これまでの取り組みも充実させていきます

定期健康診断・人間ドック

今年度から、定期健康診断の取扱いが、「職免」から「職務」に変更になりました。これを契機に、受診率が100%となるよう、各職場での声かけをお願いします。また、人間ドックは共済組合が21医療機関と提携し、約半額程度で受けられる人気メニューとなっています。



メンタルヘルス対策

7月に実施した「メンタルヘルスチェック」については、9月中旬に個人結果を送付しますので、ストレス状態を確認し、こころの健康づくりに役立ててください。組織分析も行った上で、職場環境の改善につながるよう、今後、取り組みの充実を図っていきます。



皆様のご意見やアイデアをお聞かせください。

健康経営の推進に向けて、今後も、行財政局厚生課・神戸市職員共済組合はコラボヘルスで取り組んでいきます。今後、どのような取り組みが必要か真剣に考えています。皆さんの声をお聞かせください。

✉ kenshin@office.city.kobe.lg.jp

厚生課 内線954-6763・6 ダイヤルイン 322-5110